

## 「ロイロノート」を用いた授業の実践 【大府市立神田小学校】

大府市立神田小学校では、「ICTを活用し、対話を通して考えを深める神田っ子～深い学びを引き出す提示や発問の工夫～」という研究テーマのもと、学習支援ソフト「ロイロノート」を用いた授業実践に取り組んでいる。ロイロノートの概要は次の通り。

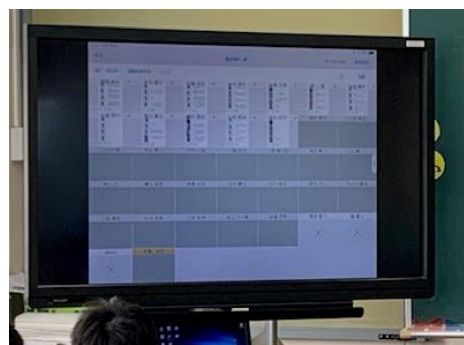
- スマホやタブレット用の授業支援ソフトで、教材の一斉配布はもちろん、全員の回答を表示したり、添削して一人一人に返却したりするなど双方向で授業を進めることができる。
- 写真やカードなどの情報を、並び換えて添付することで、プレゼンテーション資料を作ることができる。また、クラス全員の考え方を共有することや、作ったものを蓄積してポートフォリオにすることもできる。

6年理科「土地のつくり」の主な学習活動と指導上の留意点は次の通り

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1 本時の学習課題について考える 「神田小学校の地下の様子を知ろう」 2 地層の種類を考える (1) 神田小のボーリング試料の写真を観察し、地下の様子を考える。 ①個人で考える。(※写真1) ②グループで意見交換する。 ③クラス全体で意見交流する。(※写真2) (2) 意見をまとめる。 3 本時のまとめをする。	○端末(iPad)を机の上に準備し、ロイロノートを開かせておく。 ○ボーリング試料(4種類)の標本を見せた後、写真(4枚)を各自の端末に送付する。 ○送付された4枚の写真を個人ノートに貼り付けた後、それぞれ何が含まれているか、自分の考えを記入させる。 ○各自の個人シートをグループの仲間に転送させ、互いのシートを確認させる。 ○電子黒板に個人シートを転送し、数人の児童に全体の場で発表させる。 ○ボーリング試料の正体を教え、地下には粒の大きさの違う土や色の違いで層ができていていることを説明する。



【※写真1】個人ノートに4枚の写真を貼り付けて、自分の考えを記入する。



【※写真2】電子黒板に個人ノートを転送して、全体の場で意見交換する。